

明日に架ける橋

2025年度 進路だより 第8号
兵庫県立明石高等学校進路指導部
2025年12月23日発行

推薦型選抜入試がほぼ終わりました

共通テスト必要型の国公立大学を除いて、国公立・私立大学とも推薦型選抜入試もほぼ終了し、受験した3年生には合否結果も届いたかと思います。前号でお伝えしたように、私立大学の推薦入試は概して一般選抜より難易度が高くなります。その中でも、多くの人が第一志望校の私立大学の合格通知を手にして、努力の成果が見られました。大多数の人は、当初より2月の一般選抜を目指して勉強していますので、私立大学文系学部志望の人は英・国・地歴、理系志望の人は英・数・理を今からしっかり仕上げていきましょう。

国公立大学の推薦入試には総合型・学校推薦型合わせて、今のところ29名が出願しています。共通テスト利用の推薦の合否判明は2月になります。共通テストを使わない推薦では今日現在9名の合格通知が届いています。合格が判明している大学・学部は以下の通りです。

大阪教育大学教育学部	香川大学経済学部	愛媛大学農学部
群馬大学情報学部	兵庫県立大学理学部	兵庫県立大学環境人間学部
神戸市外国語大学外国語学部	広島市立大学芸術学部	
長岡造形大学造形学部		

国公立・私立大学を問わず、推薦型選抜入試の合否判定には調査書が重視され、出願資格で調査書の学習成績の基準を定めている大学も多数あります。1・2年生の皆さん、毎日の授業が自分の進路実現に繋がります。自分の将来のために、授業・課題に全力で取り組みましょう。

間もなく一般選抜入試の出願です

1月末から私立大学の一般選抜入試が始まります。多くの3年生が志望している主な大学(文系)の今年度の一般選抜前期日程(1月末～2月初め)の入試日は次の通りです。

同志社大学	4	5	6	7	8	9	10	
関西学院大学	1	2	3	4	5	6	7	
関西大学	1	2	3	4	5	6	7	
立命館大学	1	2	3	4		7	8	9
近畿大学	24	25						(近畿大学は11～14日がB日程)
龍谷大学			29	30	31			
甲南大学			30	31	1		4	5
京都産業大学			26	27	28	29		

この日程から受験校・受験日の作戦を考えてみましょう。

3年生で志望者の多い経済学部を一例にあげてみます。最新のベネッセ模試による上記の大学の経済学部の前期日程・3教科型の合格偏差値Bラインは、次の通りです。

同志社大学	70	関西学院大学	64	関西大学	64	立命館大学	64
近畿大学	61	龍谷大学	59	甲南大学	57	京都産業大学	52

2月1・4・5日は、上位層が関西学院大学や関西大学などに集中し、甲南大学受験はチャンスです。関学・関大を第1志望で押さえが甲南と考えている人は、30・31日の甲南を受験する可能性が高いと予想されます。産近甲龍を第1志望に考えている人は、2月の甲南大学を受験すれば合格可能性が高くなると思われます。関学・関大でも同様で、4～7日は上位層は同志社に集まる可能性が高いです。

また受験型も各大学・学部によって様々で、例えば関西学院大学では2月1・2日の文系学部の配点は、英200・国200・地歴150(550点満点)ですが、3・4日の傾斜配点型方式では経済学部は英300・国150・地歴150(600点満点)で、社会学部では英200・国100・地歴



300(600点満点)です。学部によらず、どうしても関学に行きたい、という人は英語が得意ならば経済学部、地歴が得意ならば社会学部、という選択も考えられます。関学の他の学部でも、また他の大学でも同じように得意科目を生かした受験パターンがあります。

同じ大学でも同系統で学部を変えれば、合格偏差値が変わります。例えば、例年明石高校の先輩の志望が多い5大学の商経・社会科学系の合格可能偏差値Bライン(前期日程・3教科型)は、次の通りです。

関西学院大学	商	65、経済	64、法	64、社会	64、総合政策	60、	
関西大学	法	67、経済	64、商	64、社会	64、社会安全	61、総合情報	58
近畿大学	経営	62、経済	61、法	61、総合社会	61、国際	59	
甲南大学	経済	57、経営	57、法	51、マネジメント	54		
京都産業大学	経済	52、法	54、経営	51、国際関係	51		

また、どの大学においても2教科型入試の方が合格者が少なく、倍率・合格偏差値とも高くなります。私立大学の志望者は最低3教科をしっかりと受験勉強する必要があります。

理系でも同様のことが言えますので、よく検討してみましょう。私立大学の入試パターンは、実に複雑です。志望大学の入試要項をよく調べて、合格のチャンスを逃さないようにしましょう。

期末考査中、3年生の皆さんの志望私立大学の出願検討会を校長・教頭・進路指導部・3学年の先生方で長い時間をかけて行いました。様々な資料で検討しましたので、学年の先生や進路指導部までどんどん相談に来てください。すでの三者面談が始まっていますが担任の先生とよく話し合って、現役合格を目指しましょう。

⑨情報 甲南大学の入試担当の方からの情報です。甲南大学は今年の推薦入試の合格者を絞り込んだので、一般入試の定員は昨年より増やすとのことです。

共通テストが近づいてきました

1月17日(土)・18日(日)の共通テストが迫ってきました。今月25日(木)・26日(金)には本校において、駿台共通テスト・プレテストを実施し、いよいよ受験勉強の総仕上げです。

共通テストには3年生207名が出願をしています。すでに受験会場が発表になりました。明石高校生の今年度の受験会場は次の通りです。

神戸大学医学部保健学科	75名	神戸親和大学	70名		
神戸常磐大学	41名	神戸女子大学	20名	流通科学大学	1名

各自の受験教科によって会場が分かります。今年度は遠隔地の会場が多いですので、冬季休業中に実際の入試と同じ時間、同じ交通経路で、必ず下見を行って、当日不安のない状態で受験会場に向かってください。1月8日(木)には最終の共通テスト説明会と激励会を実施します。勝負はすぐ目の前です。頑張りましょう！

閑話 第5号で野球部ネット裏に立つ延長25回の「善闘之碑」のことを記しましたが、それ以外にも明石高校には実に多くの貴重な碑があります。校史資料館の北の「天壤無窮」の碑を見たことがありますか。この碑の字を書いたのは明治・大正期の有名な外交官牧野伸顕伯爵です。牧野伯爵は、近代日本最初の実質の宰相大久保利通公の次男で、戦後の日本を復興に導いた吉田茂元首相の義父、現自由民主党副総裁の麻生太郎元首相の曾祖父に当たります。第一次世界大戦のパリ講和会議の日本全権としても名高い人物です。

その牧野伯爵に明石中学初代校長の山内佐太郎先生が「天壤無窮」の揮毫を依頼し、碑として建立されました。「天壤無窮」とは『日本書紀』の天照大神降臨の項に出てくる「永遠」を表す言葉です。終戦後は占領軍に没収されないよう当時の先生方が土に埋めて隠したという話も残っています。碑の左下に「牧野伸顕書」とあります。碑をじっくり見て、明石高校の歴史に思いを馳せてほしいです。(責o)

